

※各指標の「県内順位」は、財政的に良好な方からの順位。

H21.1 岩手県市町村課

H21.1 葛巻町

H22.1 葛巻町

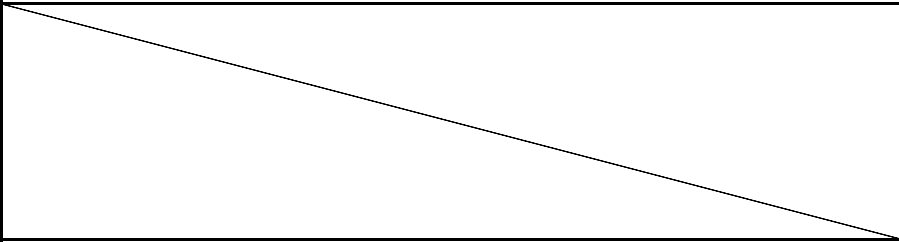
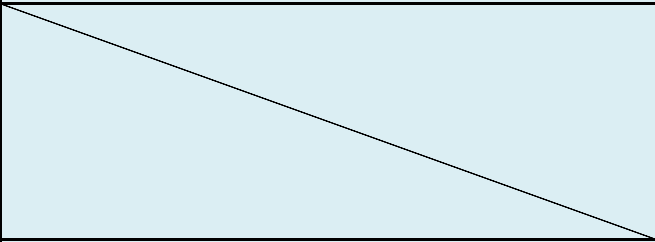
| 平成20年度いわて市町村行財政ドックにおける助言事項及び市町村の取組方針等 | | | | 市町村の平成21年度取組実績 |
|---------------------------------------|-------------|--|---------------------------|----------------|
| 項目 | 助言・検討依頼事項 | | 左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等） | |
| 普通会計 | 総括的項目及び歳出関係 | <p>【現状】</p> <p>① 実質収支、実質単年度収支 「実質収支」は黒字(201,829千円)を計上しており、黒字額はH18(147,502千円)に比べ、+54,327千円(+36.8%)と改善している。 「実質収支比率」5.5%はH18(3.9%)より+1.6ポイントと改善している。(県平均3.0%、県内2位)</p> <p>基金取崩額等を控除した「実質単年度収支」はH18年度に赤字(▲111,219千円)を計上したが、H19は黒字(299,529千円)を計上した。(赤字を計上したのは、H15以降ではH18のみ) 「実質単年度収支比率」8.2%は、H18(▲3.0%)より+11.2ポイントと改善している。(県平均1.0%、県内3位)</p> <p>② 歳出規模の状況 H19の「歳出決算倍率」は164.8%で、H18の147.0%に比べ+17.8ポイントと悪化している。(県平均155.7、県内順位は、倍率の低い方から27番目)</p> <p>③ 基金残高の状況 「基金残高(財調+減債+その他特目)」870,579千円は、H18(623,902千円)に比べ+246,677千円(+39.5%)と改善した。 「基金残高倍率」23.7%は、H18(16.6%)に比べ、+7.1ポイントと改善している。(県平均28.1%、県内14位) 「基金残高対前年度減少額倍率」▲6.7%は、H18(1.9%)に比べ、▲8.6ポイント改善している。(県平均0.6%、県内5位)</p> <p>④ 経常収支比率の状況 経常収支比率91.9%は、H18(91.9%)と同値となっている。(県平均89.5%、県内順位27位) 経常収支比率の内訳をみると、公債費の比率が29.9%(県平均24.3%、県内34位)と県平均に比較して非常に高い水準にあり、これが経常収支比率全体の数値を押し上げている。</p> <p>⑤ 実質公債費比率の状況 健全化判断比率の1つである実質公債費比率(H17～H19平均)は17.5%で、前年度(17.7%)に比べ▲0.2ポイントと改善した。(県平均17.4%、県内20位)</p> <p>⑥ プライマリーバランスと地方債残高の状況 プライマリーバランスは黒字を達成(42.9%)しており、また、H18(59.6%)に比べ▲16.7ポイントと改善している。(県平均71.2%、県内4位) 地方債現在高倍率207.7%は、H18(217.6%)に比べ▲9.9ポイントと改善している。(県平均(202.0%、県内18位)</p> <p>⑦ 将来の財政負担(地方債残高+債務負担行為支出予定額-基金残高)の状況 「将来財政負担」7,102,364千円は、H18(8,286,519千円)に比べ▲1,184,155千円(▲14.3%)と改善している。 「将来財政負担比率」193.3%は、H18(219.9%)に比べ▲26.6ポイントと改善している(県平均191.3%、県内18位)</p> <p>⑧ 将来負担比率(健全化判断比率)の状況 「将来負担比率」は131.6%と、早期健全化基準を下回った。 充当可能基金及び需要費算入見込額が小さく、充当可能財源等が低い水準にあるものの、地方債残高は中位、公営企業債繰入・退職手当支給予定額負担の見込が小さく、将来負担額も低い水準にあるため、県平均を下回った。(県平均144.7%、県内13位)</p> | | |

| 平成20年度いわて市町村行財政ドックにおける助言事項及び市町村の取組方針等 | | | 市町村の平成21年度取組実績 |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 項目 | 助言・検討依頼事項 | 左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等） | |
| | <p>⑨ 公営事業会計等への繰出金等の状況 繰出金等比率1は1.5%と、H18(3.1%)に比べ▲1.6ポイントと改善している。(県平均5.6%、県内3位) 繰出金等比率2(第三セクターへの委託料を除いたもの)は1.5%と、H18(2.8%)に比べ▲1.3ポイントと改善している。(県平均4.4%、県内5位)</p> <p>⑩ 集中改革プラン(経費節減の財政効果)の進捗状況 H19単年度の計画額385百万円に対し、実績額は447百万円。達成率116.1%。 H17～H19の累積においては、計画額836百万円に対し、実績額は895百万円と、達成率107.1%。</p> <p>【現状総括】</p> <p>① 実質単年度収支は、H18に赤字を計上したが、H19黒字を計上した。(H15以降で赤字を計上したのはH18のみ)</p> <p>② 歳出決算額倍率164.8%は、県内の倍率の低い方から27位。</p> <p>③ H19基金残高倍率23.7%は、県内14位と中位に位置している。</p> <p>④ 財政の弾力性を示す経常収支比率は、H19で91.9%(H18と同値)となっている。(県内27位、県平均89.5%)。主に公債費に係る経常収支比率29.9%(県平均24.3%)が県内34位であり、これが経常収支比率全体の数値を押し上げている。</p> <p>⑤ H19における歳出に占める義務的経費の割合は42.3%(県平均45.0%、県内7位)上位に位置してるが、義務的経費のうち公債費の割合は18.8%(県平均16.7%)と県内で30位と非常に高い水準にある。</p> <p>⑥ 公債費負担比率25.5%は、県内34位と非常に高い水準となっている。(県平均16.7%)</p> <p>⑦ 実質公債費比率(H17～H19平均)は17.5%で、前年度(17.7%)に比べ、▲0.2ポイントと改善している。(県平均17.4%、県内20位)</p> <p>⑧ プライマリーバランスは平成16年度以降黒字を継続しており、H19も黒字(42.9%)となっている。(県平均71.2%、県内4位)</p> <p>⑨ 繰出金等比率2(第三セクターへの委託料を除いたもの)は、1.5%(県平均4.4%、県内5位)と、公営企業等の独立採算部門への財政的援助の割合は比較的低い。</p> <p>⑩ H19集中改革プラン実績は、H19単年度及びH19までの累積のいずれにおいても計画額を達成している。</p> <p>【課題】</p> <p>① 経常収支比率の引下げ(主に公債費に係る分の引下げ)</p> <p>② 公債費負担比率の引き下げ</p> <p>【助言・検討依頼事項】</p> <p>前述の課題の解決のため、主に次の項目についてH21年度当初予算に反映されるよう検討すべきではないか。</p> <p>① 起債発行事業を厳選し新規の起債発行の抑制によるプライマリーバランスの黒字の継続を行うこと。</p> | <p>・H21年度当初予算においても、起債発行事業を厳選し、プライマリーバランスの黒字を継続して参りたい。</p> | <p>・H16からプライマリーバランスの黒字を継続している。償還額の1/2以下の発行額となっている。</p> <p>・H21年度当初予算において、起債発行額を抑制しプライマリーバランスの黒字を維持したところである。</p> <p>・H22年度当初予算についても、引き続きプライマリーバランスの黒字を維持するよう、現在、予算編成作業を進めているところである。</p> |

| 平成20年度いわて市町村行財政ドックにおける助言事項及び市町村の取組方針等 | | | | 市町村の平成21年度取組実績 | |
|---------------------------------------|----------------|--|---|----------------|---|
| 項目 | 助言・検討依頼事項 | | 左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等） | | |
| | 歳入関係 | 【現状及び課題】 ①H19年度の「自主財源比率」は17.5%(H18:20.4%、▲2.9ポイント)で、県平均31.1%を下回っている(県内第30位)。 ②平成17年度に「葛巻町ふるさとづくり寄附条例」を制定の上、寄附金受入れ体制を整え財源確保に努めている。 ③町税の調定額に対する収入未済額の割合は8.7%(県平均6.9%、県内第27位)で、収入未済額が累積している。(H18:8.1%、+0.6ポイント) ④町税の徴収率は、91.3%(H18:91.9%、▲0.6ポイント)で、県内第24位となっている(県平均92.5%)。 【助言・検討依頼事項】 町税の徴収率が年々低下の傾向にあることから、滞納処分を強化する等引き続き収入未済額(滞納繰越額)の縮減に努めるべきではないか。 | ・新規滞納者を出さないよう管理職(課長等)が未納者の臨戸交渉を実施している。(5月、8月、11月) ・滞納者に対する分納誓約の徹底及び収納管理表の活用による納付の徹底を実施している。 ・岩手県地方税滞納整理機構との連携強化。機構から指導を受けながら、滞納処分へ向け事務手続きを進行中。 ・長期滞納者の財産調査及び差押等滞納処分を検討中である。 | | ・未納者に対し、課長等と担当者が臨戸納税勧奨を5月と8月に実施した。 ・滞納者から納税相談を受けながら、分納誓約書を受理し、収納管理表により収納管理を実施している。 ・岩手県地方税滞納整理機構へ職員を派遣し、機構の指導を受けながら差押等の滞納処分を実施した。 ・高額滞納者の差押資産の公売を実施した。 |
| 保険等事業会計 | 国保事業 | 【現状及び課題】 ① 財源補てん的な他会計繰入金(全額普通会計からの繰入)21,404千円は、H18(24,326千円)に比べ、▲2,922千円(▲12.0%)と改善している。なお、これを控除した後の実質収支▲6,753千円は、H18(6,302千円)に比べ、▲13,055千円(▲207.2%)と悪化している。 ② 国保税の調定額に対する収入未済額の割合は27.4%(H18:28.0%、前年比▲0.6ポイント、県平均22.6%、県内第33位)で、収入未済額が累積している。国保税の徴収率は、71.7%(H18:72.0%、前年比較▲0.3ポイント、県平均75.1%)で、県内第31位である。 【助言・検討依頼事項】 ① 財源補てん的な他会計繰入金の縮減のための具体的な方策を検討すべきではないか。(平成19年4月20日付け総財調第9号通知「平成19年度の国民健康保険繰出金について」に基づく繰出金以外の繰出金に限る。) ② 国民健康保険税については、収入未済額の累積により徴収率の低下が続いていることから、収入未済額の圧縮に努めるべきではないか。 | ①について ・財政安定化支援事業繰入金については、本町国民健康保険被保険者について、所得が低く保険税負担能力が低いことと、年齢構成が高齢者に偏っていることで医療費が高額になることから、国保財政安定化のため実施しているところであり、平成19年4月20日付け総財調第9号通知により適切に対処しているところである。 ・本年度においては、高齢者の医療の確保に関する法律の施行により、75歳以上の高齢者が後期高齢者医療制度の被保険者に移行したことから、前年度と比較し減額(当初予算ベースで▲11,069千円)となる見込みである。 ②について ・収入未済額の圧縮に向け、滞納者へ資格証明書や短期証の交付により、交渉機会を増やし、納税交渉を行っているところである。 | | ・滞納者への納税相談を実施するとともに分納誓約を受理し、交渉機会を多くしながら、短期証や資格証明書の交付により納税につなげている。 |
| | 老人保健事業 | 【現状及び課題】 ① 他会計繰入金(その他)504千円は、H18(497千円)に比べ、+7千円(+1.4%)と増加している。 ② 他会計繰入金(その他)を控除した後の実質収支▲199千円は、H18(10,700千円)に比べ、▲10,899千円(▲101.9%)と悪化している。 【助言・検討依頼事項】 ①他会計繰入金(その他)を控除した後の実質収支の赤字の原因を分析のうえ、黒字化の達成のための具体的な方策を検討すべきではないか。 | ・実質収支の赤字の原因は、その他の収入(第三者納付金)が前年度より▲10,893千円減少したことによるもの。 ・黒字化達成のために、一般管理経費の縮減に努める。 | | |
| | 介護保険事業(保険事業会計) | 【現状及び課題】 介護保険事業は盛岡北部行政事務組合で実施している。 H19年度決算において「財源補てん的な他会計繰入金」は無く、実質収支は119,952千円(H18は124,924千円)となっている。 【助言・検討依頼事項】 特になし。 | | | |

| 平成20年度いわて市町村行財政ドックにおける助言事項及び市町村の取組方針等 | | | 市町村の平成21年度取組実績 |
|--|--|---|---|
| 項目 | 助言・検討依頼事項 | 左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等） | |
| 公営企業会計 （各種指標（年度指定の無いものは平成18年度決算に基づく。） | <p>【現状及び課題】</p> <p>① 国保葛巻病院</p> <p>（1）病床数78床（一般病床：60床、療養病床：18床）</p> <p>（2）H19年度経常収支比率：100.7%（H18：103.9%）</p> <p>（3）H19年度医業収支比率：80.4%（H18：80.2%）</p> <p>（4）H19年度病床利用率：68.3%（一般病床：59.5%、療養病床：97.7%）</p> <p>H18年度 “ ” :72.4%（一般病床：68.4%、療養病床：85.8%）</p> <p>H17年度 “ ” :79.4%（一般病床：77.5%、療養病床：85.8%）</p> <p>H16年度 “ ” :80.2%（一般病床：78.0%、療養病床：87.4%）</p> <p>（5）資金不足比率（財政健全化法）：0%</p> <p>（6）H19年度不良債務額：0千円（平成18年度：0千円）</p> <p>「第5次病院事業経営健全化計画（H14年度～H18年度）」に基づき、一般会計からの繰入により不良債務を解消したもの。</p> <p>（7）公立病院改革プラン策定：平成21年3月策定予定</p> <p>② 基準外繰入金控除後のH19年度決算の経常損益▲29,226千円の赤字（H18は▲38,474千円の赤字）。資本的収支は0千円の収支均衡状態（H18は0千円）である。</p> <p>収益的収支及び資本的収支に係る一般会計からの繰入金は、収益的収支が193,287千円（うち基準外35,000千円）（H18収益的繰入金は239,786千円（うち基準外70,000千円））、資本的収支が9,758千円（うち基準外0千円）（H18資本的繰入金は8,554千円（うち基準外0千円））である。</p> <p>③ 平成19年度決算における経常収支比率は、100.7%（H18年度決算103.9%で3.2%の減少）と黒字状況にはあるが、全国の黒字病院（50～100床）の平均経常収支比率は104.2%と比較すると（▲3.5%）幾分低い状況にある。</p> <p>④ 平成19年度決算における病床利用率は、68.3%（H18年度72.4%で4.1%の減少）で減少している。</p> <p>【助言・検討依頼事項】</p> <p>① 公立病院改革プランを平成21年3月に策定する予定となっているが、基準外の繰入金控除後の収支の状況が赤字となっている。公立病院改革ガイドラインにもあるように、一般会計等負担金等の繰出ルールを明らかにするよう検討すべきではないか。（※【基準外繰入金】35,000千円の経費の内容が、「経営安定対策費」となっているが、単なる赤字補てんに対する繰入にはあたらないか。）</p> <p>② 病床利用率が、年々減少しているが、経営改革においてはどのような対応をする予定であるか検討状況をお示し願いたい。</p> | <p>①公立病院改革プランの中で、葛巻病院の役割を明確化するとともに、一般会計負担等についても病院事業の実態等に即した繰出ルールを設定する予定である。</p> <p>②病床利用率減少の要因の1つは常勤医師の不足であり、現在医師確保を最重要課題として取り組んでいる。そのうえで、今後の患者動向等を見据えた病床種別や病床数について検討する予定である。</p> | <p>①平成21年3月に葛巻病院改革プランを策定し、一般会計負担金等の繰出ルールを明確にした。</p> <p>ルール外では、累積欠損金の削減対策として、21年度から23年度まで150,000千円を繰り入れることとした。</p> <p>②病床利用率の微増・改善</p> <p>平成19年度実績 68.3%（一般病床59.5%、療養病床97.7%）</p> <p>平成20年度実績 73.1%（一般病床65.5%、療養病床98.6%）</p> <p>平成21年度見込 73.1%（一般病床66.7%、療養病床94.5%）</p> <p>③医師確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県派遣、自治医科大養成医師の配置希望、町のHP、県医師支援室HPでの医師募集を継続するとともに、今年新たに民間の（株）リンクスタッフのe-doctorサイトに医師募集を掲載した。 ・医師の住環境整備のため、医師住宅2棟を新築した。 ・小児科医師の診療応援の増加（週2回→11月から週3回） ・あらゆる機会を捉え、医師招へいに向け交渉している。 <p>④医療環境及びサービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテシステムを導入し、3月からの本格稼働予定。 ・医療ボランティアを募集し、住民との連携によるサービスの提供を目指している。 ・調理器具（スチームコンベクションオープン）を購入し、ソフト食・やわらか食の提供を行っている。 ・眼科機械（スペキュラーマイクロスコープ）及び移乗機能付ストレッチャーを購入した。 |

| 平成20年度いわて市町村行財政ドックにおける助言事項及び市町村の取組方針等 | | | 市町村の平成21年度取組実績 |
|---------------------------------------|--|---------------------------|----------------|
| 項目 | 助言・検討依頼事項 | 左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等） | |
| 簡易水道事業 | <p>【現状及び課題】</p> <p>事業実施地区：7地区（葛巻地区、江刈地区、西部地区、山形川地区、星野地区、馬淵川地区、江刈川地区）</p> <p>①H19年度決算の実質収支は14,166千円の黒字（H18 12,857千円の黒字）。収益的収支は53,185千円の黒字であり、資本的収支は▲29,792千円の赤字となっている。尚、一般会計からの繰入金については、収益的収支が12,392千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）、資本的収支が24,807千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）となっており、合計で繰入金37,199千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）となっている。</p> <p>②一ヶ月20㎡当たり家庭用料金3,280円は、県平均3,255円と比較して25円高くなっており、県順位は10位（21団体中）となっている。</p> <p>③料金回収率85.2%は、県平均60.7%と比較して24.5%高くなっており、県順位は4位（21団体中）となっている。</p> <p>【助言・検討依頼事項】</p> <p>特になし。</p> | | |
| 農業集落排水事業 | <p>【現状及び課題】</p> <p>事業実施地区：2地区（葛巻地区、四日市地区）</p> <p>①H19年度決算の実質収支は3,398千円の黒字（H18 1,885千円の黒字）。収益的収支は2,720千円の黒字であり、資本的収支は▲386千円の赤字となっている。尚、一般会計からの繰入金については、収益的収支が32,665千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）、資本的収支が40,000千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）となっており、合計で繰入金72,665千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）となっている。</p> <p>②水洗化率56.3%は、類型平均72.1%と比較して15.8%低くなっており、県平均77.4%と比較しても21.1%低くなっている。</p> <p>③有収率92.0%は、類型平均94.5%と比較して2.5%低くなっており、県平均96.7%と比較しても4.7%低くなっている。</p> <p>④使用料回収率22.8%は、類型平均30.7%と比較して7.9%低くなっているものの、県平均17.3%と比較すると5.5%高くなっている。</p> <p>⑤使用料単価135.0円は、類型平均143.5円と比較して8.5円低くなっているものの、県平均113.4円と比較しても21.6円高くなっている。</p> <p>【助言・検討依頼事項】</p> <p>特になし。</p> | | |
| 特定地域生活排水処理事業 | <p>【現状及び課題】</p> <p>事業実施地区：1地区（町内全域（浄化槽181基））</p> <p>①H19年度決算の実質収支は1,408千円の黒字（H18 1,230千円の黒字）。収益的収支は225千円の黒字であり、資本的収支も3,207千円の黒字となっている。尚、一般会計からの繰入金については、収益的収支が1,680千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）、資本的収支が2,286千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）となっており、合計で繰入金3,966千円（うち基準外なし：H18の基準外なし）となっている。</p> <p>②水洗化率10.4%は、類型平均70.9%と比較して60.5%低くなっており、県平均56.9%と比較しても46.5%低くなっている。</p> <p>③有収率100.0%は、類型平均100.0%と比較して同率であり、県平均100.0%と比較しても同率となっている。</p> <p>④使用料回収率74.6%は、類型平均55.2%と比較して19.4%高くなっており、県平均72.5%と比較しても2.1%高くなっている。</p> <p>⑤使用料単価116.5円は、類型平均150.9円と比較して34.4円低くなっており、県平均137.5円と比較しても21.0円低くなっている。</p> <p>【助言・検討依頼事項】</p> <p>特になし。</p> | | |

| 平成20年度いわて市町村行財政ドックにおける助言事項及び市町村の取組方針等 | | | | 市町村の平成21年度取組実績 | |
|---------------------------------------|------------------------|---|---|----------------|--|
| 項目 | 助言・検討依頼事項 | | 左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等） | | |
| 第三セクター等 団体名の下の（ ）内は出資比率であること。 | 総括的事項 | 【現状と課題】 ① H20.4.1現在で、25%以上出資を行っている第三セクター等は4法人となっている。 ② 運営費補助金を交付している法人はなし。 ③ 経常損失を計上している法人は1法人（エコ・ワールドくずまき風力発電）となっている。 ④ 債務超過の状態にある法人は1法人（エコ・ワールドくずまき風力発電）となっている。 【助言・検討依頼事項（総括）】 ① 第三セクターの経営状況を定期的に点検評価する委員会の設置等について検討すべきではないか。 | ・本町において、損失補償債務等を行っている法人については、財政健全化法の将来負担比率の算定に関する標準評価方式上はA評価となっていることから、現在のところ経営検討委員会の設置の取り組みは行っていない。 ・しかしながら、損失補償債務を行っていないものの債務超過状態にある法人があることから、委員会設置については、他市町村の事例を参考に検討して参りたい。 | | ・各第三セクターでは、運営委員会等において定期的に経営状況の点検評価を行い、健全経営に努めているところである。委員会組織の設置等については継続して検討して参りたい。 |
| | 葛巻町畜産開発公社（88.7%） | 【現状及び課題】 ① 同法人は牧場管理、畜産物の販売を行う社団法人である。 ② H19年決算の経常損益は＋5,378千円で、H18年（＋10,582千円）に比べ5,204千円の減となっている。 ③ H18年には補助金（11,900千円）、委託料（6,914千円）が交付されていたが、H19年はともに支出されていない。 ③ 損失補償契約に係る債務残高は341,312千円で、H18年（298,320千円）に比べ42,992千円の増となっている。 【助言・検討依頼事項】 ① 損失補償契約に係る債務残高が増加した理由及び同公社の経営状況の点検・評価の実施状況を説明してください。 | ・損失補償契約に係る債務残高が増加した主な理由としては、石油や餌の高騰により県外から周年預託牛の減（前年期末対比213頭減）し、収入が減少したこと、施設の老朽化による修繕費の増加による運転資金の借入れによるものとなっている。 ・経営状況の点検評価については、運営委員、理事及び幹事を持って公社の運営指導に当たっているところであり、更なる健全運営に努めて参りたい。 | | ・平成21年4月に長期資金150百万円（日本政策金融公庫、10年償還）の借入を行い、このうち80百万円を事業運転資金の返済に充てている。 ・長期資金を含めた借入額は増加したが、21年度内においては、長期資金の返済は順調に進むとともに、事業運転資金についても5百万円程減少している。これは、餌の高騰が落ち着き、県外からの預託が回復したことが主な要因となっている。 ・経営状況の点検評価については、これまでと同様に運営委員会及び理事会で行い、引き続き健全経営に努めて参りたい。 |
| | グリーンテージくずまき（90.2%） | 【現状及び課題】 ① 同法人は宿泊施設の運営・管理を行う株式会社である。 ② H19年決算の経常損益は＋286千円で、H18年（＋255千円）に比べ31千円の増となっている。 【助言・検討依頼事項】 特になし。 |  | |  |
| | 葛巻高原食品加工（40.8%） | 【現状及び課題】 ① 同法人はワイン、ジュースの製造・販売を行なう株式会社である。 ② H19年決算の経常損益は＋4,847千円で、H18年（＋7,505千円）に比べ2,658千円の減となっている。 ③ 損失補償契約に係る債務残高は143,410千円で、H18年（160,000千円）に比べ16,590千円の減となっている。 【助言・検討依頼事項】 ① 同社の経営状況の点検・評価の実施状況を説明してください。 | | | ・同社のオブザーバーとして、担当課長が経営状況の確認、指導助言を定期的に行っているところであり、引き続き健全経営に努めて参りたい。 ・同社のオブザーバーとして、担当課長が経営状況の確認、指導助言を定期的に行っているところであり、昨年は減額に転じたが収支は回復基調にあり、引き続き健全経営に努めて参りたい。 |
| | エコ・ワールドくずまき風力発電（25.0%） | 【現状及び課題】 ① 同法人は風力発電の実証研究・売電を行なう株式会社である。 ② H19年決算の経常損益は▲12,512千円で、H18年（▲15,165千円）に比べ2,653千円の赤字減となっている。 ③ 累積欠損金は167,235千円で、H18年（154,975千円）に比べ12,260千円の増となっており、債務超過の状態となっている。（超過額157,235千円）。 【助言・検討依頼事項】 ① 債務超過状態の改善に向けた経営改善の見通しについて説明してください。 | ・風車の故障が影響し、十分な発電が得られないことが債務超過の主な理由である。1000mの山間高冷地での風力発電事業は世界的に見ても珍しく、メンテナンス技術の向上による安定稼働が課題である。 ・債務解消については、取締役会において、経営母体の強化などの経営改善策の検討を進めており、共同出資者であり筆頭株主でもあるエコ・パワー（株）と連携を図りながら、経営改善に努めて参りたい。 | | ・筆頭株主であるエコ・パワー（株）がメンテナンス会社である（株）ウィンド・サービスを吸収合併し、今後のオペレーション・メンテナンス体制の合理化を図り、運転稼働率の向上と売電収入の確保に努めている。 また、債務解消については、経営母体の強化等において検討を進めており、エコ・パワー（株）及びNEDO等関係機関との調整を進めているところである。 |

| 平成20年度いわて市町村行財政ドックにおける助言事項及び市町村の取組方針等 | | | 市町村の平成21年度取組実績 |
|---------------------------------------|--|---------------------------|--|
| 項目 | 助言・検討依頼事項 | 左に対する検討結果（方針・対策・課題・要望事項等） | |
| 住民への行財政情報の開示 | <p>【現状及び課題】</p> <p>市町村を中心とした分権型社会を構築するためには、徹底した情報公開と住民ガバナンスの強化が必要不可欠である。</p> <p>平成20年3月に実施した「市町村の行財政情報の公表状況調査」による行財政情報の公表率は97.0%で県内3位の状況。ただし、現状をみると、集中改革プランのうち定員管理の数値目標の達成状況が積極的に提供されているとは言い難い状況。</p> <p>公会計制度改革への取組については、平成19年度決算から普通会計4表及び連結貸借対照表を平成21年度に公表する予定。</p> <p>【助言・検討依頼事項】</p> <p>定員管理の数値目標の達成状況について、情報を積極的に開示するよう検討すべきではないか。</p> | ・情報の積極的な開示に努めて参りたい。 | ・毎年発行している全世帯配布の町民向け予算書において、情報開示してきたところである。 |